



## はじめに

---

- [目的, i ページ](#)
- [対象読者, ii ページ](#)
- [関連資料, ii ページ](#)
- [表記法, iii ページ](#)
- [マニュアルの入手、サポート、およびセキュリティのガイドライン, iv ページ](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要, iv ページ](#)
- [マニュアルの構成, v ページ](#)

## 目的

『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド』では、次の Cisco Unified Serviceability を通じてアラーム、トレース、SNMP を設定するための説明と手順を示します。

- Cisco Unified Communications Manager
- Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service
- Cisco Unity Connection



### ヒント

Cisco Unity Connection の場合、Cisco Unified Serviceability と Cisco Unity Connection Serviceability の両方でサービスアビリティ関連タスクを実行する必要があります。たとえば、問題を解決するために、両方のアプリケーションでサービスの起動や停止、アラームの表示、トレースの設定が必要な場合があります。

Cisco Unified Serviceability は、『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド』に記載されている機能をサポートしています。Cisco Unity Connection Serviceability 固有のタスクについては、『Cisco Unity Connection Serviceability Administration Guide』を参照してください。

---

## 対象読者

『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーション ガイド』は、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service、または Cisco Unity Connection の設定、トラブルシューティング、およびサポートを行う管理者を支援することを目的としています。このマニュアルを使用するには、テレフォニーおよびIP ネットワーキングテクノロジーに関する知識が必要です。

## 関連資料

このガイドは、設定に関するマニュアルと併せて使用してください。

製品	資料
Cisco Unified Communications Manager	『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』、『Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting Administration Guide』、および『Cisco Unified Communications Manager Call Detail Records Administration Guide』
Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service	『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』
Cisco Unity Connection	『Cisco Unity Connection Serviceability Administration Guide』 および『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』

これらのマニュアルは、次の情報が含まれます。

- 『Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting Administration Guide』：このマニュアルでは、ユーザ、システム、デバイス、および課金レポートの作成に使用するツールである Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting を設定および使用する方法について説明します。
- 『Cisco Unified Communications Manager Call Detail Records Administration Guide』：このマニュアルには呼詳細レコード（CDR）定義が含まれます。
- 『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』：このマニュアルでは、システムのさまざまな面（重要なサービス、アラート、パフォーマンスカウンタなど）をモニタするためのツールである Unified RTMT の使用方法について説明します。
- 『Cisco Unity Connection Serviceability Administration Guide』：このマニュアルでは、Cisco Unity Connection Serviceability でアラーム、トレース、クラスタ、レポートを使用する方法と、その手順について説明します。

## 表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
<b>boldface</b> フォント	コマンドおよびキーワードは <b>太字</b> で示しています。
イタリック体フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[ ]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x   y   z }	必ずどれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[ x   y   z ]	どれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされません。
screen フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
^	^記号は、Ctrl キーを表します。たとえば、画面に表示される ^D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。

(注) は、次のように表しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

ワンポイントアドバイスは、次のように表しています。

**ワンポイントアドバイス**

「時間の節約に役立つ操作」です。記述されている操作を実行すると時間を節約できます。

ヒントは、次のように表しています。

**ヒント**

役立つ「ヒント」の意味です。

注意は、次のように表しています。

**注意**

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

警告は、次のように表しています。

**警告**

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。

## マニュアルの入手、サポート、およびセキュリティのガイドライン

マニュアルの入手方法、テクニカルサポート、マニュアルに関するフィードバックの提供、セキュリティガイドライン、および推奨エイリアスや一般的なシスコのマニュアルについては、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

## シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、[http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear\\_data.html](http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html) で参照できます。

## マニュアルの構成

Unified Communications Manager の Cisco Unified Serviceability および IM and Presence Serviceability の設定手順についての情報を提供します。

- Cisco Unified Serviceability : ブラウザのサポートを含む Serviceability の概要です。
- はじめに : Serviceability GUI のアクセス方法と使用方法について説明します。
- アラーム : Serviceability GUI アラームとアラーム定義、アラームの設定の手順、アラーム定義の検索と編集の手順の概要です。
- トレース : トレース パラメータ設定の概要、および Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool のトレース収集の概要です。ネットワーク サービスおよび機能サービスのトレースパラメータを設定する手順およびサービスのトラブルシューティング トレース設定を行う手順について説明します。
- ツールおよびレポート : 表示される各ネットワーク サービスおよび機能サービスの説明です。機能サービスおよびネットワーク サービスのアクティブ化、非アクティブ化、起動、および停止の手順と推奨事項について説明します。Cisco Serviceability Reporter サービスによって生成されるレポートの概要です。Cisco Serviceability Reporter サービスによって生成されるレポートを表示する手順を示します。
  - Unified Communications Manager のみ : [CDRの管理設定 (CDR Management Configuration) ] ウィンドウを使用して呼詳細レコード (CDR) ファイルと呼管理レコード (CMR) ファイルに割り当てるディスクスペースの容量の設定、ファイルを削除するまでの保存日数の設定、および CDR の送信先となる課金アプリケーション サーバの設定を行う際の情報について説明します。
- シンプル ネットワーク管理プロトコル : シンプル ネットワーク管理プロトコル (SNMP) バージョン 1、2c、3 のサポートと設定手順の概要です。
- Call Home : Call Home サービスの概要です。Call Home 機能の設定方法について説明します。

